

方針のポイント

1 市内3中学校で制服を統一

現在、相良中学校、榛原中学校、牧之原中学校では、それぞれ異なる制服を着用しています。

新しい制服は、一体感と本市らしさを感じることができるよう、市内3中学校共通の制服とします。

また、開校予定の義務教育学校でも着用する予定です。



2 基本の制服をブレザータイプに

現在の制服は、男子は詰め襟の学生服、女子はセーラー服です。

新しい制服は、上着をブレザータイプとし、スラックスやスカートと組み合わせた着用となります。

生徒が自分の考えや体調、気温の変化などに合わせて、上着の着脱、スラックスやスカートを選択して着用することで、快適に学校生活を送ることができるようにします。また、ワイシャツだけでなくポロシャツも選択でき、セーターやカーディガンなども着用できるようにします。



3 保護者の経済的な負担を軽減

現在の制服は、購入時やクリーニングなど保護者の経済的な負担となっていました。また、気温に応じた服装調整や洗濯の手間など、管理が大変という声もありました。

新しい制服は購入しやすい価格帯とするともに、ワイシャツやポロシャツなどについては、市販品も選択できるようにします。また、家でも洗濯可能な素材で、日々の手入れや買い替えの負担を軽減します。扱いやすさや耐久性にも配慮し、子どもと保護者の双方にとって使いやすい制服とします。



4 子どもや保護者の意見を反映した制服

令和6年度から、アンケートやワークショップなどを通じて意見をいただきながら検討を進めています。

新しい制服は、子ども自身が「着用したい」と思えるデザインとするため、制服の展示やデザイン投票などを行い、児童生徒や保護者の皆さんの意見を取り入れながら、デザインを決定していきます。



みんなで作るミライの学び舎 Vol.6

市では、令和10年度から導入を予定している市内中学校の新しい制服について、検討を進めています。

問い合わせ
学校教育課 芝原 ☎32645

なぜ制服を見直すの？

現在の制服は、各学校で長年親しまれてきましたが、近年は多様性への配慮や保護者の経済的負担の軽減、気候変動への対応など、制服に求められる役割は変化してきています。

そこで、子どもたちにとって、より着やすく、保護者にとっても負担の少ない制服を目指し、令和6年度から生徒・保護者・教職員を対象としたアンケートやワークショップを通じて検討を進めてきました。

「牧之原市中学校の制服に関する方針」を策定しました

これまでの検討結果を踏まえ、6月に「牧之原市中学校の制服に関する方針」を策定しました。

この方針は、新しい制服づくりの基本的な考え方や方向性を示したものです。制服をどのような考え方で検討していくのかを整理し、今後のデザインや仕様の検討はこの方針に沿って進めていきます。



今後のスケジュール（予定）

新しい制服は、子どもたちが毎日安心して着用でき、保護者の負担軽減にもつながる制服を目指しています。今後も広報紙や市ホームページなどを通じて、検討状況をお知らせしていきます。

▶新しい制服づくりの中心となる業者の選定

制服のデザイン案やサンプルの作成などを行う業者を、複数の企業から企画提案を募る「公募型プロポーザル」で選定します。

▶制服の展示会および投票によるデザインの決定

作成した制服のサンプルを展示、デザインを決める投票を実施します。

▶制服仕様の決定

制服の素材や機能性、価格などの仕様を決定します。

▶業者および保護者への説明、採寸などの導入準備

注文や販売方法、採寸など、導入に向けた準備を行います。

▶新制服導入

新制服は、令和10年度の新入生から導入する予定です。希望する在校生についても着用することができます。



※写真はイメージです。実際に導入される制服ではありません。

令和8年度

令和9年度

令和10年度